

BPCラウンドテーブル 2011 大阪&関連イベント
報告書

BPC ラウンドテーブル 2011 大阪 報告書

大阪市、財団法人大阪国際経済振興センター（IBPC 大阪）及び大阪ビジネスパートナー都市交流協議会は、「BPC ラウンドテーブル 2011」を、2011 年 10 月 20 日（木）に、ハイアットリージェンシー大阪において開催しました。21 回目の開催となる今回は、大阪市とビジネスパートナー都市（BPC）提携を結ぶ 10 都市の代表が一堂に会し、経済交流を通じて相互の発展を図ることを目的として、「環境・エネルギー問題への取り組みと関連ビジネスの振興」というテーマのもと、各都市の取り組みの情報共有や今後の交流内容等について意見交換をしました。

また、併催事業として、アジアの環境・エネルギー問題と経済発展の方策を探る「大阪市アジア環境ビジネスシンポジウム」や、BPC 都市の貿易・投資情報を提供する「BPC ビジネスセミナー」や BPC 都市からのビジネスミッション団参加企業との個別商談を行う「BPC ビジネスマッチング」、「OWESA(大阪市 水・環境ソリューション機構)フォーラム」などを開催しました。

◎ BPCラウンドテーブル 2011 会議及び関連行事

➤ BPCラウンドテーブル 2011 会議

開催日時： 2011 年 10 月 20 日（木） 9:00 - 13:10

会 場： ハイアットリージェンシー大阪 3F ボールルーム C

主 催： 大阪市、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会、
(財)大阪国際経済振興センター（IBPC大阪）

テ ー マ： 「環境・エネルギー問題への取り組みと関連ビジネスの振興」

Efforts towards environmental and energy challenges, and promotion of related businesses.

プログラム:

- 9:00 - 9:15 ・ 歓迎挨拶
 大阪市長 平松 邦夫
- ・ 開会挨拶
 大阪商工会議所副会頭(大阪ビジネスパートナー都市交流協議会会長代行) 古川 実
- ・ コーディネーターによる進行説明
- 9:15 - 9:25 大阪市 プレゼンテーション
- 9:25 - 10:35 BPC 代表者によるプレゼンテーション ① （各 10 分×5 都市）
(70 分) (香港、シンガポール、クアラルンプール、マニラ、ジャカルタ)
- 10:35 - 10:55 休憩
- 10:55 - 12:05 BPC 代表者によるプレゼンテーション ② （各 10 分×5 都市）
(70 分) (ソウル、上海、ホーチミン、メルボルン、天津)
- 12:05 - 12:35 フリーディスカッション
- 12:35 - 12:40 コーディネーター総括
- 12:40 - 12:45 2012 年ラウンドテーブル開催について
- 12:45 - 12:50 閉会（事務局からのお知らせ）
- 13:00 - 13:10 記念撮影(集合写真)
- 13:30 - 14:30 昼食

(1) 会議出席 各 BPC 都市代表者:

	都市	団体名	役職	名前
1	香港 Hong Kong	香港貿易發展局 Hong Kong Trade Development Council	アシスタント・マーケティング・マネージャー Assistant Marketing Manager	リックイー・フォン Mr. Ricky FONG
2	シンガポール Singapore	シンガポール国際企業庁 International Enterprise Singapore	東京事務所長 Center Director (Tokyo)	リー・ホイリョン Mr. LEE Hoi Leong
3		中国-シンガポール天津エコシティ投資開発会社 Sino-Singapore Tianjin Eco-City Investment and Development Co., Ltd (SST	経済開発本部長 General Manager (Economic Promotion)	リム・キンブン Mr. LIM King Boon
4	クアラルンプール Kuala Lumpur	マレーシア貿易開発公社 Malaysia External Trade Development Corporation	東京事務所 所長 Director, Tokyo	クア Mr. Kua Kiat Chye
5		マレーシア貿易開発公社 Malaysia External Trade Development Corporation	大阪事務所 所長補佐 Assistant Director, Osaka	橋詰 裕志 Mr. Hiroshi HASHIZUME
6	マニラ Manila	フィリピン貿易産業省 外国貿易サービス公社 Philippine Department of Trade & Industry, Foreign Trade Service Corp	フィリピン総領事館 商務部 特別通商代表 Special Trade Representative, Philippine Trade & Investment Center	ザフルーラ G. マサフッド Mr. Zafrullah G. Masahud
7		フィリピン総領事館 商務部 Philippine Trade and Investment Center, Philippine Consulate General Annex	貿易アシスタント Trade Assistant	J. ベルナルド F. ラトハ Jr. Mr. J. Bernardo F. Latoja, Jr.
8	ジャカルタ Jakarta	ジャカルタ商工会議所 Jakarta Chamber of Commerce & Industry	外交委員長 Head of Committee of Foreign Relations	ファティヤ・ユリアンドレ Ms. Fathya Yuliandre
9		ジャカルタ商工会議所 Jakarta Chamber of Commerce & Industry	投資委員長 Head of Committee of Investment	エドウィン・リドワン Mr. Edwin Ridwan
10		在大阪インドネシア共和国総領事館 Consulate General of the Republic of Indonesia	副領事 Vice Consul	アデリア・オガンティニ Ms. Adelia Ogantini
11	ソウル Seoul	大韓商工会議所 Korea Chamber of Commerce and Industry	国際部 課長 Manager, International Affairs	キム・ジョンサン(金 宗相) Mr. KIM Jong Sang
12		大韓商工会議所 Korea Chamber of Commerce and Industry	国際部 課長補佐 Assistant Manager, International Affairs	ヨン・ジョンファ(龍 貞和) Ms. YONG Jeong Hwa
13	上海 Shanghai	上海市商務委員会 Shanghai Municipal Commission of Commerce	副主任 Vice Chairman	王 新平 Mr. WANG Xinping
14		上海市外国投資促進中心 Shanghai Foreign Investment Development Board	投資促進部長 (上席マネージャー) Director, Investment Promotion Dept.	羅 和慶 Mr. LUO He Qing
15		上海市商務委員会 Shanghai Municipal Commission of Commerce	外商投資促進所 所長助理 Assistant Director, Dept. of Foreign Investment Promotion	于 玲 Ms. YU Ling

16	ホーチミン	ホーチミン市人民委員会 People's Committee of Ho Chi Minh City	産業通商局 副局長 Deputy Director, Department of Industry & Trade	トラン・ビン・ニュン Dr. Tran Vinh Nhung
17	Ho Chi Minh City	ホーチミン市人民委員会 People's Committee of Ho Chi Minh City	産業通商局 貿易 & 外国市場部長 Head of Division, Division of Foreign Trade and External Market	グエン・チ・ゴック Ms. Nguyen Thi Ngoc
18	メルボルン	メルボルン市 City of Melbourne	委員長(経済開発&学識都市、次世代メルボルン委員会) Chair, Future Melbourne and (Economic Development and Knowledge City) Committees	ケビン・ルーイ Councillor Kevin Louey
19	Melbourne	メルボルン市 City of Melbourne	国際交流アドバイザー International Advisor	シェーン・マッキロイ Mr. Shane Mcilroy
20		天津市商務委員会 Tianjin Commission of Commerce	副主任 Deputy Director	高 強 Mr. GAO Qiang
21	天津 Tianjin	天津市外商投資服務中心 Tianjin Investment Promotion Centre	主査 Project Manager	李 霽萌 Mr. LI Jimeng
22		天津市人民政府外商投資弁公室 Foreign Investment Office of Tianjin Municipal People's Government	商業誘致顧問 Investment Promotion Adviser	陳 颯 Mr. CHEN Biao
23		大阪市 City of Osaka	政策企画室 理事 Director General for International Affairs, Office of the Mayor	西宇 正 Mr. Tadashi NISHIU
24	大阪 Osaka	大阪市 City of Osaka	政策企画室 都市外交担当部長 Director for International Relations, Office of the Mayor	平木 万美子 Ms. Mamiko HIRAKI
25		大阪市 City of Osaka	環境局 エネルギー政策担当部長 Director for Energy Policy, Environment Bureau	吉田 謙吾 Mr. Kengo YOSHIDA
26	コーディネータ -	大阪ビジネスパートナー都市交流協議会 Osaka Business Partner City Council	常務理事兼事務局長 Executive Director and Secretary General	増田 守 Mr. Mamoru MASUDA
27	MC	(財)大阪国際経済振興センター Osaka International Business Promotion Center	国際部 経済交流担当部長 Director for International Business Exchange	藤田 佳久 Mr. Yoshihisa FUJITA

(2) 大阪プレゼン骨子

- 大阪では急激な人口集中、都市化の進展が進み、ごみや工場排水などの急激な都市環境破壊の課題に対応してきた。
- 一例として、大阪市においても工場排水等により河川水質がひどく悪化した時代があったが、多面的なアプローチによる長年の取り組みにより、水質を改善してきた。下水道整備のみで



はなく、工場排水規制や監視あるいは河川水浄化などを組み合わせた総合的な取組により、今や観光で賑わう快適な水辺空間を取り戻した。

- 大阪市のペットボトル水「ほんまや」は、高度浄水処理水をボトル詰めしたものであり、今年4月には、品質評価の国際機関であるモンドセレクションの飲料水部門において金賞を受賞した。すなわち、大阪市内で飲まれている蛇口の水は、国際的な賞を取るくらい安全でおいしい水である。
- 大阪府は新たな国際貢献として、優れたものづくりの技術を持つ大阪・関西の企業とともに、上下水道やごみ処理などの実際のプロジェクトの立ち上げに関わっていく。日本では、上下水道やごみ処理などは法律に基づいて市町村固有の事業とされている。大阪府は、事業の企画段階から運営管理に至るまで、全体をコーディネートしてきたが、その実現には民間企業の高い技術力に支えられ、官と民が車の両輪で事業を進めてきた。これから海外での国際貢献を進める上で、この両輪で個々の状況に応じた提案を行うことで、具体的な問題解決につながるものと確信している。この、官民が連携した問題解決のソリューション提案を行う新たな組織として、今年4月に「大阪府 水・環境ソリューション機構」という組織を設立した。大阪府と、関西経済連合会等の経済団体が連携し、新たな枠組みで国際貢献を進めていきたい。
- 大阪府では既にベトナム・ホーチミン市、インドネシア・マラン市と水道、下水道、廃棄物の分野で既に調査を実施している。民間企業と連携し、タッグを組んで、各都市との対話を進めながら、ニーズとシーズをうまく組み合わせた最適な解決策を導き出し、将来の事業化を視野に入れた調査を進めている。
- 大阪府のエネルギー政策としては、本年3月に、環境・エネルギー分野などを柱とする「大阪府経済成長戦略」を策定するとともに、「おおさか環境ビジョン」を取りまとめ、低炭素・循環型の持続可能な社会をめざし、太陽光発電をはじめ再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進などにも取り組んできた。しかしその後の東日本大震災によって次の二つの課題が明らかになった。
 - ① 一極集中型電力供給システム、原子力発電の安全性などの課題が顕在化
 - ② エネルギーの安定供給とセキュリティの確保の必要性そのため、都市の新しいエネルギーシステムをつくるため【大阪府エネルギービジョン】の策定に取り掛かっている。
- 都市の新しいエネルギーシステムとは、再生可能エネルギーを中心に多様なエネルギー源の導入を推進するとともに、スマートグリッドなどの先端技術を活用した需要と供給が一体となった地域分散型エネルギーシステムであり、施策としては創エネ、新エネ、畜エネ、省エネに分類される。これはつまり都市の姿としてエネルギー地産地消型の都市、そして防災力が強化された都市を目指すことを意味している。
- これまで需要サイドの対策だけであったエネルギーはこれからは、需要サイドも供給サイドも対策が必要となり今後のエネルギーは需要対策に加えて 安定供給を確保することになる。この場合に、需要者も一定のエネルギー供給源を持つことになる。



- 新たなエネルギーシステムとそれを支える技術ポテンシャルの施策例
 - 【施策例1】 夢洲エネルギー供給拠点、臨海部エネルギーネットワーク
メガソーラーや廃棄物発電、高効率 GTCC 発電などによりエネルギーを安定的に供給し、企業活動が継続できる環境を整備することで企業立地の促進につなげる。咲洲スマートコミュニティ実証プロジェクトは、海水熱や下水熱等を含む熱や電気のエネルギーの相互融通や低炭素交通システムなどで構成されるもので、今年度内には参加企業の公募がされる予定ある。
 - 【施策例2】 森之宮地区資源・エネルギー循環型まちづくり
ごみ焼却工場(排熱)と下水処理場(消化ガス等)を活用した先導的なエネルギーシステムを構築し、国内外への展開と産業振興につなげる。
 - 【施策例3】 新たなエネルギー源の研究・開発(市立大学 人工光合成研究拠点整備)
人工光合成のメカニズムを用いた次世代循環型エネルギーの研究を促進し、その実現による低炭素化、エネルギー供給の安定化を図る。
 - 【施策例4】 太陽光発電などの導入促進
市民、事業者と協働して太陽光発電や蓄電池等の積極的な導入を進め、低炭素化とともに防災力の向上を図る。

(3) 各都市プレゼンキーワード

香港	<ul style="list-style-type: none"> ● 香港を含む珠江デルタ経済圏としての取組み ● 環境産業が経済の主要な産業の一つ ● 「1工場・1年・1環境プロジェクト」プログラム実施 ● 中国市場への入口としての香港
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な都市開発課題に直面 ● 環境問題克服とビジネス促進に向けた3つの取組み例 <ol style="list-style-type: none"> ① グリーンビルディング: 2030年までに80%の建物をグリーン認証 ② 水ビジネス: 国家的ニーズから水産業の発展、アジア太平洋地域で実績 ③ アーバンソリューション: 例) 天津エコシティ、広州ナレッジシティ
クアラルンプール	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーンテクノロジー国家政策 ● 経済成長の強化と同時にグリーンテクノロジー産業の成長促進 <ol style="list-style-type: none"> ① エネルギー ② 建物 ③ 水及び廃棄物処理 ④ 輸送
マニラ	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境のための優先投資プロジェクト <ol style="list-style-type: none"> ① エネルギー ② インフラ ③ グリーンプロジェクト ④ 自動車 ⑤ 災害の防止、緩和及び復興プロジェクト
ジャカルタ	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川/川岸緑化運動の取組み ● ごみ銀行(3R削減、再利用、リサイクルをコンセプトとしたごみ問題の取組み)紹介
ソウル	<ul style="list-style-type: none"> ● 韓国のグリーン成長政策(国家戦略) ● 環境関連の研究開発、環境ビジネス、再生可能エネルギーへの投資拡大。
上海	<ul style="list-style-type: none"> ● 2011～2015年における水保全活動目標 ● 汚染の大幅な低減を図る6つの改革
ホーチミン市	<ul style="list-style-type: none"> ● ホーチミン市の環境問題(交通渋滞、粉塵/排ガス、廃棄物、洪水) ● 経済成長力、環境保護、社会保障をキーワードとした持続可能な都市への移行

	<ul style="list-style-type: none"> ● 2025年までの環境問題改革目標設定 ● 国際協力及び民間セクターとの協力による環境問題への取り組み
メルボルン	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動適応戦略(干ばつ、森林火災、豪雨、暴風、海面上昇等) ● 水問題/干ばつに対する取り組み⇒メルボルン市を巨大な集水域と考える大構想 ● 豪雨水採取や庭園プロジェクトの紹介
天津	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央政府の開発指導による、経済成長の加速と同時に環境にやさしい都市づくり

(4) 総括

大阪市においては、かつて都市における環境破壊の問題に立ち向かった経験を活かし官民連携してアジアをはじめ世界の水環境問題の解決に貢献しようとしている。また新しいエネルギービジョンを出したところでもある。各都市/国の環境問題への取り組みに国境を越えて連携・協力しようという動きが大きくなっている。また、環境問題は、香港での事例のように周囲の国々と一体的に考えないといけないケースも沢山ある。各都市での様々なとりくみを、このBPC都市のネットワークを活用して情報交換を図り、ビジネスの振興へとつなげ、それが国民経済の成長と豊かな社会への実現へと結び付けていけるのではないかと考える。アジアの環境問題の解決と環境ビジネスはじめ産業発展のためにこのBPCネットワークを、今後とも活発に活用していけたらと考える。



➤ BPCセミナー

開催日時： 2011年10月19日(水) 14:00 - 17:00

会 場： ハイアットリージェンシー大阪 2F クリスタルボールルーム「ルビー」

主 催： 大阪市、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会、
(財)大阪国際経済振興センター (IBPC大阪)

テ ー マ： 「Doing Business in Your City/Country」

内 容： BPCラウンドテーブルの開催を機に、在阪のBPC地域関心企業を対象とした各都市代表者による経済/貿易情報の提供と投資環境の説明会

参加者数： 69名

参加都市： 6都市(香港、クアラルンプール、ジャカルタ、ソウル、メルボルン、天津)

<香港>

「香港:中国でのビジネス機会をサポートするプラットフォーム」

香港貿易発展局 アシスタント・マーケティング・マネージャー リッキー・フォン氏

<クアラルンプール>

「マレーシアにおける投資機会」

マレーシア工業開発庁 大阪事務所 所長 ザビディ・マハバール氏

<ジャカルタ>

「資源、創造性、サービスを併せ持つ次の投資先」

ジャカルタ商工会議所 外交委員長 ファティヤ・ユリアンドレ氏

<ソウル>

「韓国でのビジネス」

大韓商工会議所 国際部 課長 キム・ジョンサン氏

<メルボルン>

「メルボルンでの貿易および投資の機会」

メルボルン市 次世代メルボルン委員長(「経済開発&学識都市」「連携する都市」) ケビン・ルーイ氏

<天津>

「天津における投資環境の紹介」

天津市商務委員会 副主任 高 強氏



➤ BPCビジネスマッチング

開催日：2011年10月19日(水) 及び10月21日(金)

会場：ハイアットリージェンシー大阪 2F「咲」 及び企業への直接訪問

主催：大阪市、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会、
(財)大阪国際経済振興センター (IBPC大阪)

参加企業数：3社(シンガポール1社、ジャカルタ1社、メルボルン1社)

商談件数：6件(シンガポール3件、ジャカルタ1件、メルボルン2件)



➤ OWESAフォーラム

開催日時： 2011年10月19日(水) 14:00 - 18:00

会 場： ハイアットリージェンシー大阪 2F クリスタルボールルーム「クリスタル」

目 的： 海外からの多くの参加者が集まる機会を捕らえて、水・環境技術を有する関西企業に対し、海外の技術者とのネットワークの構築、ビジネスチャンス拡大の機会を提供

参加者数： 66名

内 訳： 企業16社29名、BPC都市3都市11名、JICA研修生16カ国25名、近畿経済産局1名



➤ 大阪市アジア環境ビジネスシンポジウム

開催日時： 2011年10月20日(木) 15:00 - 18:00

会 場： ハイアットリージェンシー大阪 3F ボールルーム E

主 催： 大阪市

内 容： 環境・エネルギー問題と経済発展についての基調講演や、アジアの都市での取り組みについてパネルディスカッションによる情報共有を行い、環境分野におけるアジアの都市が抱える諸問題の解決と経済発展方策を探る

参加者数： 119名

プログラム：

<基調講演①>

「次世代エネルギー施策の推進」

大阪市環境局 理事兼エネルギー施策室長 東 信作氏

<基調講演②>

「環境・エネルギー問題と都市発展」

京都大学 大学院経済学研究科教授 植田 和弘氏

<パネルディスカッション>

テーマ：「環境問題の克服とエネルギー管理に係る先進的なまちづくり」

コーディネーター： 京都大学 植田 和弘 大学院経済学研究科教授

パネリスト： 大阪市環境局 東 信作 理事兼エネルギー政策室長

中国ーシンガポール天津エコシティ投資開発会社

リム・キンブン 経済開発本部長

メルボルン市 市議員



➤ エコツアー

開催日時: 2011年10月21日(金) 9:00 - 12:00

参加者: シンガポール1名、マニラ2名、メルボルン2名、メルボルン環境ミッションメンバー7名

視察先:

9:30-10:15 舞洲スラッジセンター(大阪市建設局)

応対者: 大阪市建設局 舞洲スラッジセンター 鎌田 裕介 所長

<施設概要>

所在地: 大阪市此花区北港白津 2-2-7 TEL: 06-6460-28303

敷地面積: 約 33,900 m²

主要設備: 汚泥溶融設備 750t/日 (150t/日×5基)現在
900t/日 (150t/日×6基)計画
汚泥脱水設備 300 m³/時 (60 m³/時×5台)現在
360 m³/時 (60 m³/時×6台)計画
排ガス処理設備 集塵装置(ばいじん対策)
脱硫装置(硫黄酸化物対策)
脱臭・脱硝装置(臭気・窒素酸化物対策)

煙突 高さ約 120m 直径約 14メートル

施設規模: 地上 6階/地下 1階 (鉄筋鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造)

建築面積 約 17,000 m²

延床面積 約 40,000 m²



10:30-11:15 舞洲工場(大阪市環境局)

応対者：財団法人大阪市環境事業協会舞洲工場 見学担当 樋口 恵一 主任

<施設概要>

所在地： 大阪市此花区北港白津 1-2-48 TEL: 06-6463-4153
敷地面積： 約 33,000 m²
処理能力： 焼却設備 900t/日 粗大ごみ処理設備 170t/日
事業費： 約 609 億円
工期： 着工 平成 9 年 3 月 竣工 平成 13 年 4 月
建築規模： 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
7 階建て(一部地下 2 階建て)
建築面積 約 17,000 m²
延床面積 約 57,000 m²
煙突 内筒鋼板製、外筒鉄筋コンクリート造 高さ 120m



11:30-12:00 ATCグリーンエコプラザ

応対者：アジア太平洋トレードセンター株式会社 公共グループ 前田 敏彦 部長

<施設概要>

名称：大阪環境産業振興センター(おおさか ATC グリーンエコプラザ)
会場：ATC(アジア太平洋トレードセンター)ITM 棟 11 階
大阪市住之江区南港北 2-1-10
会場面積： 4,500 m²



➤ サイエンスエキスポ関西 2011 視察

日 時： 2011年10月21日(金) 13:15 - 14:00

訪 問 者： シンガポール1名、マニラ2名

